



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月22日

上場会社名 株式会社両毛システムズ

上場取引所 東

コード番号 9691

URL <https://www.ryomo.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 北澤 直来

問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 上山 和則（TEL）0277 - 53 - 3131

半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月3日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	8,479	1.2	635	△23.8	599	△27.7	374	△35.1
2024年3月期中間期	8,382	8.4	834	41.7	829	41.9	576	41.0

（注）包括利益 2025年3月期中間期 344百万円（△47.2%） 2024年3月期中間期 652百万円（64.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	106.97	—
2024年3月期中間期	164.70	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	22,315	12,565	56.3
2024年3月期	21,840	12,291	56.3

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 12,565百万円 2024年3月期 12,291百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
2025年3月期	—	20.00			
2025年3月期（予想）			—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	18.3	2,000	8.1	1,930	3.8	1,320	39.7	377.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	3,510,000株	2024年3月期	3,510,000株
2025年3月期中間期	11,358株	2024年3月期	11,358株
2025年3月期中間期	3,498,642株	2024年3月期中間期	3,498,716株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2024年11月20日(水)にアナリスト向け説明会を実施する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、設備投資には持ち直しの動きがみられ、企業収益も総じて改善されるなど、緩やかな回復基調が見受けられました。しかしながら、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇、海外景気の下振れ懸念、地政学リスクへの警戒など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社及び連結子会社(以下、当社グループ)では、10次中期経営計画2年目を迎え、「RSビジョン」実現に向け、重点施策として「強化・拡大」、「変革・成長」、「構造改革」に取り組み、公共分野及び民間分野とも受注拡大、製品・サービス強化、ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

「強化・拡大」では、公共分野において、自治体・警察向けソリューションビジネスの拡大に取り組んでまいりました。民間分野では、エネルギー事業において、大型SI案件に取り組むほか、モビリティ(組込)事業においては、企業の業界構造の変化に伴う積極的な投資を背景に受注拡大してまいりました。また、両分野において、クラウドサービス拡大に取り組んでまいりました。

「変革・成長」では、民間分野において、製造業のお客さま向けのDX支援としてAMOサービス<sup>\*1</sup>の強化に取り組んでまいりました。

「構造改革」では、将来の事業拡大に備え、先行投資として新たに両毛システムズデータセンター(以下、RSDC)を稼働したこと等により、減価償却費が増加いたしました。データセンターを活用したクラウド利用料ビジネスの推進等の取り組みにより、収益が平準化され、安定した収益確保に貢献いたしました。

その結果、売上高は8,479百万円(前年同期比1.2%増)となりました。また、利益では当初計画を上回りましたが、営業利益は635百万円(前年同期比23.8%減)、経常利益は599百万円(前年同期比27.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は374百万円(前年同期比35.1%減)となりました。

なお、当社グループの中間連結業績につきましては、2024年10月18日付で公表した「2025年3月期第2四半期(中間期)及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高は計画比1.1%減少、営業利益は計画比27.1%増加、経常利益は計画比27.6%増加、親会社株主に帰属する中間純利益は計画比24.8%増加となりました。

※1 AMO(Application Management Outsourcing)サービス：お客さまの業務システムを企画・設計から運用・保守までのシステムライフサイクルを通してサポートするサービス

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

## (公共事業セグメント)

公共事業セグメントは、システム機器・プロダクト関連販売分野は前年同期を下回りましたが、警察向けのシステム販売のほか、クラウドサービスやグループの総合力を活かしたアウトソーシング・サービスによる情報処理サービス分野が堅調に推移したこと等が売り上げ、利益に貢献いたしました。一方で、新規稼働したRSDCの減価償却費の増加等により、利益が減少いたしました。

その結果、売上高は3,998百万円(前年同期比4.3%減)、セグメント利益は667百万円(前年同期比18.9%減)となりました。

## (社会・産業事業セグメント)

社会・産業事業セグメントは、車載系組込ソフトウェア開発支援業務や製造業向けAMOサービスなどのITエンジニアリングサービス等により、ソフトウェア開発・システム販売分野が好調に推移し、新規稼働したRSDCの減価償却費の増加はありましたが、利益を確保いたしました。

その結果、売上高は4,480百万円(前年同期比6.5%増)、セグメント利益は957百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態に関する分析

#### (資産・負債・純資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は22,315百万円(前連結会計年度末21,840百万円)となり、474百万円増加しました。流動資産は878百万円増加し、11,420百万円となりました。固定資産は403百万円減少し、10,894百万円となりました。

流動資産の増加要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が1,678百万円減少しましたが、棚卸資産が1,682百万円、現金及び預金が887百万円それぞれ増加したこと等によるものです。固定資産の減少要因は、無形固定資産が148百万円増加しましたが、有形固定資産が612百万円減少したこと等によるものです。

当中間連結会計期間末における負債合計は9,749百万円(前連結会計年度末9,548百万円)となり、200百万円増加しました。流動負債は353百万円減少し、7,776百万円となりました。固定負債は553百万円増加し、1,972百万円となりました。

流動負債の減少要因は、未払金が428百万円減少したこと等によるものです。固定負債の増加要因は、リース債務が551百万円増加したこと等によるものです。

当中間連結会計期間末における純資産合計は12,565百万円(前連結会計年度末12,291百万円)となり、274百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上等により利益剰余金が304百万円増加したこと等によるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ887百万円増加し、4,408百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、297百万円(前年同期は447百万円)となりました。この主な要因は、棚卸資産が増加したことにより1,682百万円の資金の減少がありましたが、売上債権が減少したことにより1,623百万円の資金の増加、税金等調整前中間純利益586百万円の計上等の資金の増加があったこと等によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、229百万円(前年同期は1,443百万円)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出147百万円の資金の減少があったこと等によるものです。

営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは68百万円の増加(前年同期は996百万円の減少)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、827百万円(前年同期は429百万円)となりました。この主な要因は、セール・アンド・リースバックによる収入1,173百万円の資金の増加があったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期の連結業績予想につきましては、2024年10月18日付で公表した「2025年3月期第2四半期(中間期)及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高、利益ともに予想を上回る見込みとなりました。

上記連結業績予想は、現在において入手可能な情報及び仮定に基づいて判断したものであり、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における内外状況の変化により、実際の業績数値が予想の数値と異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,700,636	4,588,267
受取手形、売掛金及び契約資産	4,620,300	2,942,151
リース投資資産	703,644	527,173
棚卸資産	536,648	2,218,660
その他	981,778	1,144,753
貸倒引当金	△406	△321
流動資産合計	10,542,602	11,420,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,223,360	7,444,264
減価償却累計額	△3,215,020	△3,355,828
建物及び構築物(純額)	1,008,340	4,088,436
建設仮勘定	4,533,240	38,865
その他	1,579,792	2,381,926
有形固定資産合計	7,121,372	6,509,227
無形固定資産		
ソフトウェア	276,087	252,716
ソフトウェア仮勘定	34,508	49,509
その他	743,004	900,015
無形固定資産合計	1,053,601	1,202,242
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	2,304,290	2,380,667
その他	818,373	802,351
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	3,122,622	3,182,978
固定資産合計	11,297,596	10,894,448
資産合計	21,840,198	22,315,132

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	624,009	882,839
1年内返済予定の長期借入金	3,500,000	3,500,000
未払金	826,306	397,324
未払法人税等	249,969	242,289
賞与引当金	850,004	760,466
役員賞与引当金	8,818	9,677
受注損失引当金	190,286	90,763
訴訟損失引当金	566,458	578,469
その他	1,313,766	1,314,585
流動負債合計	8,129,620	7,776,416
固定負債		
リース債務	1,131,922	1,683,119
退職給付に係る負債	3,035	2,888
資産除去債務	145,000	145,000
その他	138,973	141,853
固定負債合計	1,418,931	1,972,861
負債合計	9,548,552	9,749,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	7,648,539	7,952,819
自己株式	△9,184	△9,184
株主資本合計	12,059,905	12,364,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,190	121,670
為替換算調整勘定	8,738	△7,829
退職給付に係る調整累計額	91,811	87,829
その他の包括利益累計額合計	231,741	201,669
純資産合計	12,291,646	12,565,854
負債純資産合計	21,840,198	22,315,132

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	8,382,851	8,479,613
売上原価	6,032,904	6,285,433
売上総利益	2,349,946	2,194,180
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	464,844	490,456
賞与引当金繰入額	169,009	167,599
役員賞与引当金繰入額	5,803	9,986
退職給付費用	12,660	4,734
その他	862,978	885,703
販売費及び一般管理費合計	1,515,296	1,558,480
営業利益	834,650	635,699
営業外収益		
受取利息	831	759
受取配当金	3,674	5,958
受取賃貸料	3,935	2,915
転リース差益	3,999	3,457
その他	1,730	3,455
営業外収益合計	14,171	16,546
営業外費用		
支払利息	15,676	42,020
賃貸収入原価	591	902
為替差損	1,498	2,253
その他	1,935	7,273
営業外費用合計	19,702	52,450
経常利益	829,120	599,795
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	109	954
投資有価証券売却損	-	16
訴訟損失引当金繰入額	-	12,010
特別損失合計	109	12,981
税金等調整前中間純利益	829,011	586,814
法人税等	252,755	212,561
中間純利益	576,255	374,252
親会社株主に帰属する中間純利益	576,255	374,252



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	576,255	374,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,325	△9,520
為替換算調整勘定	12,824	△16,568
退職給付に係る調整額	5,812	△3,982
その他の包括利益合計	75,962	△30,071
中間包括利益	652,218	344,181
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	652,218	344,181

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	829,011	586,814
減価償却費	215,297	446,124
無形固定資産償却費	189,411	203,859
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△47,768	△81,919
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△279	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△111,101	△90,243
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,617	2,192
受注損失引当金の増減額(△は減少)	115,725	△99,523
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△72	△84
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	-	12,010
受取利息及び受取配当金	△4,506	△6,717
投資有価証券売却損益(△は益)	-	16
支払利息	15,676	42,020
固定資産売却損益(△は益)	△0	-
固定資産除却損	109	954
売上債権の増減額(△は増加)	493,428	1,623,201
棚卸資産の増減額(△は増加)	△381,008	△1,682,011
リース投資資産の増減額(△は増加)	171,533	176,470
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△109,022	△27,273
仕入債務の増減額(△は減少)	△395,745	△200,582
未払費用の増減額(△は減少)	△16,000	△16,730
リース債務の増減額(△は減少)	△207,099	△270,170
その他の流動負債の増減額(△は減少)	107,275	△63,419
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△69	△438
その他	△2,664	△8,473
小計	858,513	546,075
利息及び配当金の受取額	4,507	6,708
利息の支払額	△15,664	△42,056
法人税等の支払額	△400,208	△213,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	447,148	297,121
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△170,000	△170,000
定期預金の払戻による収入	170,000	170,000
投資有価証券の取得による支出	△131	△97
投資有価証券の売却による収入	-	2,422
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△75,704	△42,663
有形固定資産の取得による支出	△1,327,114	△147,838
有形固定資産の売却による収入	0	-
無形固定資産の取得による支出	△40,330	△40,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,443,280	△229,059
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	635,000	-
リース債務の返済による支出	△160,612	△275,886
セール・アンド・リースバックによる収入	32,172	1,173,797
配当金の支払額	△77,082	△70,014
その他	△107	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	429,369	827,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,959	△8,328
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△556,804	887,630
現金及び現金同等物の期首残高	4,528,310	3,520,636
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,971,506	4,408,267

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
ソフトウェア開発・システム販売	615,412	2,425,360	3,040,772	—	3,040,772
情報処理サービス	2,717,289	1,323,616	4,040,905	—	4,040,905
システム機器・プロダクト関連販売	829,785	441,986	1,271,771	—	1,271,771
その他の情報サービス	14,992	14,408	29,401	—	29,401
顧客との契約から生じる収益	4,177,479	4,205,372	8,382,851	—	8,382,851
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,177,479	4,205,372	8,382,851	—	8,382,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,177,479	4,205,372	8,382,851	—	8,382,851
セグメント利益	822,467	942,188	1,764,656	△930,005	834,650

(注) 1. セグメント利益の調整額△930,005千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△95,554千円及び全社費用△834,451千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
ソフトウェア開発・システム販売	457,592	2,589,498	3,047,090	—	3,047,090
情報処理サービス	2,851,788	1,392,205	4,243,994	—	4,243,994
システム機器・プロダクト関連販売	663,323	489,539	1,152,863	—	1,152,863
その他の情報サービス	26,106	9,559	35,665	—	35,665
顧客との契約から生じる収益	3,998,811	4,480,802	8,479,613	—	8,479,613
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,998,811	4,480,802	8,479,613	—	8,479,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,998,811	4,480,802	8,479,613	—	8,479,613
セグメント利益	667,049	957,918	1,624,967	△989,268	635,699

(注) 1. セグメント利益の調整額△989,268千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△83,256千円及び全社費用△906,011千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。